

別記様式第3号（第6条関係）

会 議 記 録

次のとおり附属機関等の会議を開催したので報告します。

附属機関等名称	近江八幡市廃棄物減量等推進審議会		
開催日時	令和8年7月30日(木) 14:00－15:00		
開催場所	近江八幡市役所本庁舎 4階 委員会室2		
出席者 ※部会長◎ ※副会長○	出席者（敬称略） 審議会委員 ○水原 詞治 ○和田 有朗 ・太田 孝 ・北野 二三代 ・中江 しげ子・大村 啓子 ・安田 隆雄 事務局 生活環境課 課長 中嶋 武志 副主幹 小島 史子 主事 西中 克季 主事 北脇 翔也 主事 北村 拓己		
次回開催予定	令和8年10月5日(月) 10:00－12:00		
問い合わせ先	所属名：市民部 生活環境課 担当者名：西中 克季 電話番号：0748-36-5509 メールアドレス： 010602@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録 ・ 要約	要約した理由	長時間の会議につき、内容を整理したため
内容	◎会長の代理について 当審議会の会長である奥田委員が今年度不在となるため、代理として水原委員を事務局より推薦。委員承諾のため決定。		

◎委員委嘱と食品ロス評価部会委員の指名

令和 8 年度より各団体の役員交代等に伴い、当審議会においても 3 名の委員交代。それに伴い新規委員へ委嘱状交付。また、当審議会の専門部会である食品ロス削減推進評価部会においても同様の事情により 1 名が退任。審議会副会長である水原委員より部会委員として 1 名を新規に指名。

◎ごみ処理基本計画の中間年にあたる見直しについて

・令和 7 年度のごみ実績速報値

令和 7 年度ごみ総排出量は 25,900 トンで 1 人 1 日あたりのごみ排出量は 868 グラム。昨年度比では若干の増であるが、本計画基準年度の令和元年度からは右肩下がりの減少傾向。

家庭ごみ・事業ごみ別では、どちらも収集ごみ（いわゆる家庭であればごみステーション、事業であれば事業所などからパッカー車が収集するもの）は減少傾向。一方で、直接搬入（いわゆるエネルギーセンターなどの処理施設に直接搬入されたごみ）について事業系ごみのうち資源ごみ量が近年大幅に増加。具体的要因は、資源ごみのうち木くず・竹・草などが再生活用業指定業者へ搬入される量が増加。再生活用業指定業者とは、受け入れる一般廃棄物を再生品の原材料とする目的で技術や設備など一定の条件を満たした業者のことで市が指定。

再生活用業のメリットは、本来市環境エネルギーセンターなどに搬入され破砕・焼却・埋立処理されるはずである廃棄物を、指定業者によりチップ化等でごみではなく再資源化できるという点。

令和 7 年度資源ごみの総合計は 3,308 トンとなり、年々右肩上がりの増加傾向。基本的に各品目において大幅な増減はないものの家庭系・事業系ともに品目の“その他”が大幅に増

加。“その他”内訳の大半を再生活用業指定業者に搬入された木くずや草などが占める。

また、自治会や子供会などで実施された資源ごみ集団回収の令和 7 年度実績は計 490 トン。

本計画の進捗について、リサイクル率は年々上昇傾向。本計画の目標の 20 パーセントにむけて順調に推移。ごみ総排出量と 1 人 1 日あたりのごみ量は現時点で目標を下回る形で推移。

・一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の今後の方針と取組等について

本計画の進捗について中間年度までの実績は、順調にごみ減量が達成できている状況。今後より一層ごみ減量のため様々な取組を検討実施予定。一方、現在向こう 5 年を含めた 10 年計画の道半ばということもあり目標値変更は事務局として行わない方針。減量に向けた取組みを展開し、減少傾向を維持する考え。なお、現時点で取組んでいるもしくは取組みたい、検討したい取組みは以下の通り

・ダンボールコンポスト講習会（水と緑の環境ネットワーク主催） ※現在すでに実施中

・民間企業との連携（リユース事業、不用品排出者と買い取り業者のマッチング）

・古着古布回収イベントの平日など複数回実施

※現在は毎年 1 回 11 月上旬に実施

・事業ごみ展開検査

・剪定枝や金属類のごみステーションでの回収

・庁舎紙類の再資源化

・年賀状エコポスト ※現在すでに実施中（R6～）

・サーキュラーエコノミー（滋賀県主催） ※現在すでに実施中（R7.7～）

○委員からの主な意見

・ごみ処理基本計画において各年度の目標値はどのような根拠で設定しているのか

→計画策定時（令和３年）に確定している最新の数値を基準としている。計画の初年度は令和４年、策定年は前年（令和３年）でありその時点で環境省への報告が完了し公開されている最新の数値が令和元年度実績値。そのため令和元年度ごみ量実績値が本計画の基準。

・中間年度において目標値の改定は行うのか。現時点で一人あたりのごみ量は計画最終年の目標を達成しているという結果であるが事務局としてはどのように考えているのか

→目標値は変更しない。計画策定時に想定していた人口（近江八幡市統計データ参照）を上回る状況や事業系ごみの増加などもありここ数年ごみ量の減少幅が緩やかになってきている。また、ごみ総排出量としては計画最終年の目標値を上回っている状況。これらのことから、目標値の変更は行わないが、減少傾向を維持し、最終年で目標を達成するため様々な取組をできる限り検討実施していく考え。

・滋賀県全体でみると近江八幡市はどのような立ち位置なのか。

→市単体では減少傾向にあるものの、一人あたりのごみ排出量（近江八幡市 / 855 g）は多い。県平均（749 g）を上回っている。

・資料を見ると当市より草津市や大津市など人口が多い市町のほうが一人あたりのごみ排出量が少ないのはどのような要

因が考えられるか。

→直接的な因果関係は不明であるが、プラスチックの取扱いの違いは一つある。当市・守山市・東近江市・竜王町・日野町はサーマルリサイクルを基本としており、プラスチックの分別収集は行っておらず、可燃ごみとして収集し、焼却時のエネルギー源としている。もう一つは指定ごみ袋の有料化。他市町では燃えるごみ 1 枚あたり 40 円、10 枚で 400 円といった値段がするところもあるが、近江八幡市は 1 冊（30 枚）で 250 円と安い。実際当市においても指定ごみ袋を導入した平成 24 年以降ごみ量が大幅に減少している実績もある。また、事業系一般廃棄物においても指定ごみ袋を導入している市町もあり、一定の抑制効果があると考えられる。

・ダンボールコンポスト、衣類回収イベント、他リユース事業などまさに実際の生活で困っていることの解決につながるものなのでよい取組であると感じた。

・個人情報や他情報が載っている書類は直接焼却場に搬入しており、可燃ごみで出すのには抵抗がある。そのようなものを行政主導で市民が安心して出せる年賀状エコポストのような仕組みを作ってくれとありがたい。

・家庭系の資源ごみが減少傾向にあるが、どのようなことが考えられるか。また、収集量の増加のため事務局として考えていることなどあるか。

→減少の要因としてスーパーマーケットなどで実施されている店頭回収の市民への浸透が考えられる。営業日時間中であれば曜日問わず出せるという点や回収品目の多さ買い物のついでに出せるなど利便性が高く利用者数・回収量も増加傾向にあると考えられる。現在市として市の収集で資源ごみ量を

増加させる具体案はない状況。

・店頭回収の量を表に出すことで、市民の皆様が頑張っていることを見える化できるといい。計画の数値では量が減少しているので、市民の皆様の頑張りが見える化できるようできる限り検討いただきたい。

→市 HP で聞き取れた情報や実績は公開するようにしているが、企業側が情報の公開が難しい場合もある。今後も市民の皆様の頑張りが見える化できるよう検討する。

・なぜ近江八幡市はプラスチックごみを分別回収していないのか

→当市はサーマルリサイクルの方針であるため。プラスチックを焼却時のエネルギーとしている。また焼却時に発生した熱を利用して隣接する健康ふれあい公園のプールを温水にすることや発生した熱で電気を作っている。その電気をエネルギーセンターでの利用や一部売電している。実際プラスチックごみを分別収集するには、専用袋の作成・運搬・保管・リサイクルといった工程で費用、コスト、CO2 が発生する。分別収集と比較すると当市としてはサーマルリサイクルが効率的と現在は判断している。

◎一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中間年における改定の今後の方針とスケジュールについて

今後どのような取組みをしてごみの減量をしていくかについては、審議会の方など皆様のご意見を頂戴しながら進めたいと考えている。計画については目標値の変更はしない方針なので、基本的には内容の変更はないと考えている。ただし、新しい取組や計画年度内での変更点（ごみの収集方法に変更があった点など）については、加筆修正を行う。次回以降の

	審議会でそのたたき台をお示しする。その後、市民の皆様に公開する流れで進める。 ◎その他報告事項 ・職員向けフードドライブ（10月26日～10月30日で実施） ・古着古布の回収イベント（11月7日午前9時～11時） ・食品ロス削減推進計画の改定について、こちらも計画の中間年にあたるので、食品ロス削減推進評価部会で協議を行う。その後、たたき台を作成の上、次回以降の当審議会でお示しする。 ◎次回審議会の開催予定について 10月5日（月）午前10時～実施 テーマ：指定ごみ袋環境啓発メッセージ最終選考ほか
--	---